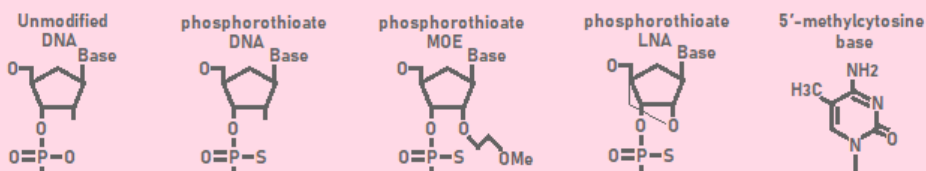


【論文紹介】 ASO をカスタマイズ～薬物動態および薬力学的特性の改善へ向けて～

アンチセンスオリゴヌクレオチド

ASOs are highly versatile, customizable therapeutic tools.



ASO（アンチセンスオリゴヌクレオチド）は、標的と相補的な配列を有する一本鎖 DNA や RNA です。タンパク質への発現を抑制するはたらきを持ちます。医薬品としての適合性を向上させるため、ASO には様々な核酸修飾が採用されています。

▶今回ご紹介するレビューでは、神経変性疾患に対する ASO 治療に焦点を当てています。薬物動態および薬力学的特性を改善するための核酸修飾はそれぞれに利点を持っており、単独または組み合わせることで、より有用な治療薬開発へ貢献できる可能性を持っていると述べられています。ASO は用途が非常に広く、カスタマイズ可能な治療ツールであると言えます。

さまざまなタイプの ASO とそれらの治療上の使用方法、そして神経変性疾患治療を目的とした新たな ASO 治療法開発に対する現在の取り組みについて説明されているレビューです。

Scoles, Daniel R., Eric V. Minikel, and Stefan M. Pulst. "Antisense oligonucleotides: a primer." *Neurology Genetics* 5.2 (2019): e323.

そのオリゴ合成、承ります！

文献のアプリケーション応用には、日本遺伝子研究所のオリゴヌクレオチドをお勧めします！

核酸医薬にとって重要とされる各種修飾が可能です。

- ・ホスホロチオエート化 (s オリゴ)
- ・2'位修飾挿入 (2'-O-methoxyethyl (2'-MOE)、2'-O-Methyl (2'-OMe)、2'-Fluoro (2'-F) など)
- ・LNA 修飾

アンチセンスオリゴヌクレオチド (ホスホロチオエート化、2'位修飾)

⇒詳細は[こちら](#)

LNA 修飾オリゴヌクレオチド

⇒詳細は[こちら](#)